

# 全組合員が立ち上がろう



## 闘春 目標を持って実践を！



No. 2743  
2018年1月1日  
発行責任者 五十嵐敏  
編集責任者 武田 昌仙

### 仙台地方本部 五十嵐執行委員長



あけましておめでとうございませう。組合員とご家族の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。政治情勢では、昨年10月に第48回衆議院解散総選挙が強行されました。結果は、自民党が単独で284議席を獲得し、絶対安定多数の261議席をこえ、連立与党の公明党を加えると、313議席と圧倒的多数を占めることになりました。

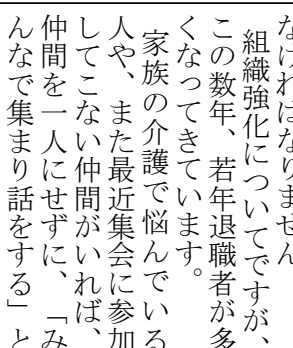
選挙争点として北朝鮮の脅威と少子高齢化を上げて、二つの国難に向けた総選挙と主張し、選挙公約の中に、憲法「改正」を目指すとして入っていました。選挙期間中そのことに触れる事はほとんどありませんでした。今後の政局にて一気呵成に改憲に進み出す事が予想されます。現在取り組まれています。「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」を全力で進めて参りますので、組合員とご家族皆様のご理解とご協力をお願い致します。

次に東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から7年目となりますが、マスコミには殆ど報道されなくなり、選挙での争点にも上げられる事なく風化が懸念されています。被災地復興は新段階に入ったと言われはありますが、帰還した人は少なく未だ約5万人を越す避難者や、賠償金の打ち切り等深刻な問題も起きています。まだまだ時間が止まったままの避難困難地域は何も解決していません。今後も「国労フクシマ交流集会」や「原発のない福島を！県民大集会」の取り組みを進めて参ります。私達の運動課題の一つであります。「労働条件に関する労働協約」改訂の取り組みでは、職場・生活実態を元に他労組の声を含めた要求の多数派として、就業規則改訂に結び付けられるよう引き続き全力を挙げて参ります。



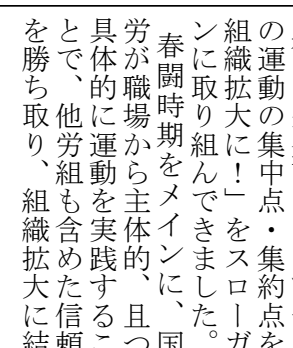
### 宮城県支部 秋山執行委員長

また、エルダー問題での改善が求められておりますし、業務委託化が進められた職場では、安全・サービスが報告されています。福島地区でのテクノサービスマン「車内清掃」の改善の取り組み、業務委託における職場での36協定代表選挙の取り組みなど、委託先との交渉の窓口づくりと合



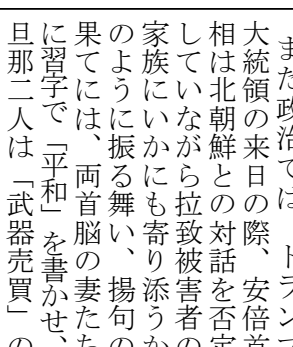
### 宮城県支部 秋山執行委員長

わせ、具体的改善の取り組みを進めます。そして、最も重要な課題でもありません組織拡大についてです。20代30代の組合員の加入がされるなか、地方本部への青年対策として30代の特別執行委員を加えることが出来ました。地本組織対策会議等で意思統一を図り、更なる青年組織の加入に向けた取り組みと、今後2年後4年後を考えた組織体制や強化に向けて取り組みを参ります。18春闘では、各地区集会で意思統一してきたそれぞれの取り組み課題を實踐し、国労東北総決起集会、国労仙台総行動に多くの組合員を結集し、職場改善要求「一人一要求作り」にこだわり、現場長との話し合いを取り組みましょう。会社共通の課題に多くの社員の声を反映させ、産別の仲間と交流し団結を深め合う18春闘を作り上げましょう。結びに、寒さ厳しい時期に入ります。組合員、ご家族の皆さんにおかれましては、健康に留意され、今年一年が実り多い年になりますようお祈り申し上げ、地方本部を代表して年頭の挨拶とさせていただきます。



### 宮城県支部 秋山執行委員長

あけましておめでとうございませう。ご家族のみならず、年々迎えられることと思ひます。年頭にあたりご挨拶を申し上げます。私は昨年のあいさつで、「皆さんと『志を一つに』」を取組んでいきたい」と申し上げました。多くの職場と地域に足を運び、皆さんの声を聴いて参りましたが、すべての職場の皆さんの声を聴くまでには至りませんでした。今年も引き続き職場を訪問し、皆さんと話し合っていきたいと考えています。昨年10月に実施された衆議院選挙は、安倍自公政権を始めたとする憲法改正を望む勢力が三分の二の議席を獲得し、いよいよ憲法改正の動きが激しくなってくるものと予想されます。また私たちが働くものにとつて大切な労働法制の更なる改善も予想されています。私たちは、こうした中であつても、社会の主人公である労働者の命と権利を守り、賃上げを始めとした労働条件を改善していくことが、労働組合の果たすべき役割であると考えています。また、職場環境についても、健康で安心して働き続けられるように、職場の仲間との話し合いを重ね、JR本体内にとどまらず、関連会社で働く人たちも含めた改善運動を取り組んでいかなければなりません。組織強化についてですが、この数年、若年退職者が多くなつてきています。家族の介護で悩んでいる人や、また最近集会に参加してこない仲間がいたら、仲間を一人にせず、「みんなで集まり話をする」という「つながりの場」を設けて頂きたいと思ひます。組織拡大については、他労組組合員や若手社員との関わりを継続し、個人だけでなく、分会全体で関わって頂きたいと思ひます。会社や所属している組合に対する不平や不満を聞き出し、遠慮せずに積極的に声をかけて国労加入を呼びかけて頂きたいと思ひます。そうした関係作りを組合員の皆さん全員で取り組めるように、目標を持って取り組んで行きましょう。最後に、私たちにとつて健康が何より大切です。皆で健康に気を付けあつて、また一年頑張っていきたいと思います。本年が皆様にとつて幸多い年であることを祈つてお参ります。



### 宮城県支部 秋山執行委員長

びつけるという問題意識を共有化してきました。闘争戦術の前に組合や会社の違いを超え、労働者の思いを受け止め、職場の中心になつて春闘を取り組むことで運動の基本に立ち返ることを確認してきました。そして、郡山駅連合分会において、昨年も他労組から一人の国労加入を果たしてきました。これからは、幅広く討論を組織し、仲間の気分を踏まえた要求に整理するなど、学習交流・討論をできるだけ丁寧な大衆的に実践することが組織拡大に向けた大きな課題となります。さて、第58回支部定期大会発言では、ビジネス駅ねつと職場における始終業時間繰り上げの職場合意形成に向けたエルダー組合員の関わりや、また遠距離通勤を強いるエルダー雇用の問題がありつつも、「一日も早く郡山に戻るよう頑張る」という発言がありました。こうした先輩たちの奮闘を全組合員が共有し職場の改善に国労が主体的に関わっていく取り組みをしていかなければなりません。ところで、JR各社の大規模な輸送障害や新幹線車両故障の重大インシデントを受け、「JRの技術継承」をマスコミが取り上げ始めています。国労の「JR発足30年を検証する」取り組みの真価が問われるといつても過言ではありません。また政治では、トランプ大統領の来日の際、安倍首相は北朝鮮との対話を否定しているながら拉致被害者の家族にいかにも寄り添うかのように振る舞い、揚句の結果には、両首脳を妻たちと習字で「平和」を書かせ、旦那二人は「武器売買」の

交渉をする始末です。安倍内閣のもとで日増しに戦争の足音が大きくなっています。私達の方こそ、「こんな人たちに負けるわけにはいかない」という決意で、18年も平和を守る取り組みに積極的に参加すると同時に、喫緊の重要課題である組織強化拡大と再雇用先のJR関連職場及びJR職場の改善を車の両輪と位置付け運動を進めていくことをお誓い申し上げます。新年のご挨拶いたします。

### 仙台総合車両所支部 庄司執行委員長



組合員・ご家族の皆様、明けましておめでとうございませう。本年も仙台支部を宜しく願います。昨年10月22日、衆院解散総選挙が実施されました。解散時期については、政権に対する疑惑に蓋をするための、国会冒頭の解散は唐突に行われた感があるとともに、「やはりこの時期か」という思いが交錯しました。与党を除けば殆どの野党が準備不足の様相を呈することとなり、正に権力を私物化した安倍内閣の本性を剥き出しにした解散でした。選挙では、いたずらに北朝鮮問題を煽りながら、危

機感を募らせ政権の安定性を訴え、また経済に対する信頼感を前面に出し、バラマキ政治の継続による浮かれた政策の元、政権の維持を目指しました。

対する野党は、新たに発足した希望の党と共に政権交代を目指すとして、民進党が合流を図りましたが、希望の党小池代表の「排除」発言をきっかけに、立憲民主党が立ち上げられ、結果として衆議院民進党は分裂した状態で選挙戦に突入しました。結果はすでにご承知の通りですが、政権与党が三分の二を占める大変危険な状況が続くこととなりました。憲法改正発議が可能な政治情勢を踏まえ、私たちが希求する平和な社会の実現に欠かすことのできない平和憲法を守る運動が強求められていっていると思えます。憲法改正は、政治情勢とは別に、国民の判断に委ねられます。

年頭にあたり改めて平和憲法を守り抜く決意を仲間の方々と共に固めたいと思います。当支部の組合員が働く幹線総合車両センターでは、矢継ぎ早に業務の部外委託が進み、直営の職場が狭められていきます。会社は、新幹線車両検修のマザーペーパーの位置付けは変わらないとしていますが、その在り方には大きな疑問を持たざるを得ない状況になっていきます。営業路線が延び続ける中であって、グループ会社の受け持ちが拡大しました。委託にあたっては十分な教育と訓練が必要であるという私たちの主張は受け入れられず、スケジューリングありきの姿勢で進められて

このままでは、技術・技能の継承問題とリンクして、将来に亘ってJRが持つべき車両検修のノウハウがどこかに抜け落ちてしまう不安を私たちは抱いています。安心・安全な新幹線の運行を実現し、自分たちの職場を守るために粘り強く取り組んでいきたいと思えます。また、組織の高齢化が進み、若返りが急務となつていきます。改めて言うまでもなく、組織力は数の力ではありません。自らの職場と共にエルダーの方々が働くグループ会社の労働環境を見つめながら、組織の強化・拡大の活動にも積極的に取り組んでいかなければなりません。仙台支部、微力ではありますが、今年一年間皆さんと共に奮闘してまいります。共に頑張りましょう。

### 山形県支部 原田執行委員長



あけましておめでとうございませう。昨年の総選挙は自公で三分の二、改憲勢力が八割という大変厳しい結果となりました。これから全力で改憲を阻止する闘いを作り上げていかなければなりません。そのために、私たちの出来ることから始めましょう。身近な方々、家族・職場

の仲間・友人等に今の政治の危険性を話し、理解してもらい、何としても改憲を阻止した戦争への道を阻止していかなければなりません。また、国労運動にとつて最も重要な課題は組織の強化・拡大です。そのためには、「職場に労働運動を」という国労運動の原点を全職場・全組合員が実践していかねばなりません。会社の合理化施策による要員不足の中で、職場には多くの不満が渦巻いています。こうした声を耳を傾け改善に向けた運動を作り上げていくことが必要となつていきます。そしてこのような運動の積み重ねが国労運動の継承と組織の強化・拡大へと繋がっていきます。国労運動に自信と確信を持ち、全組合員がもう一人の仲間を勝ち取る運動に立ち上がりましょう。

### 郡山工場支部 橋本執行委員長



明けましておめでとうございませう。昨年行われた衆議院選挙では、解散前には森友・加計学園問題で、安倍政権の支持率が過去最低まで下がりましたが、自民党の圧勝となりました。マスコミ報道も解散前は連日のように行われていたが、解散後は何もなかったかのよう報道はされず、

政府のマスコミ操作を感じました。いずれにしても、安倍政権が引き続き政権を担うわけですから、間違いなく憲法改悪と戦争の出来る国を目指して強行的な政治を進めてくることでしょう。郡山支部も憲法改悪反対・戦争反対の立場で運動を進めて行きます。続いてエルダー再雇用問題ですが、今年度の対象者の方の再雇用先を誰がどのように決定したのかについて大いに不満の残る、納得の行かない結果になりました。郡山地区での再雇用を望んでいた組合員が仙台地区への勤務先を提示され、2人の方が退職を余儀なくされました。同様の人が3人控えています。

### 東北自動車支部 北山執行委員長



明けましておめでとうございませう。第194臨時国会は安倍自民党政権の党利党略により召集日の冒頭に衆議院が解散され10月22日投票票がおこなわれた結果、与党が313議席を獲得し、安倍首相の悲願である憲法改正が政治日程ののぼり「戦後レジームからの脱却」が現実的になっていきます。私たちは、「戦争のできる国づくり」を何としても阻止しなければなりません。さて、今年はJRバス東北が設立されて30年となり

補てんをしていると多くの方が回答しています。貨物組合員は精神的にも相当なストレスを抱えています。この状況を何とか変えなくてはなりません。その意味でもストライキを構えた闘いが必要と考えます。郡山支部は、上部機関にストライキを要請してはいますが、今後は春闘時期だけでなく、一時金満額獲得の闘いにおいても、低額回答であればストライキを要請し、貨物と旅客の格差是正に向けて奮闘する決意です。本年も組合員の要求にこたえるために頑張りますのでよろしくお願致します。

乗務員の長時間労働は健康破壊だけでなく、乗客に対する安全に大きく影響を及ぼすことから改善をしなければなりません。そのためには組織の強化・拡大は最重要課題となっております。支部としてこれまで職場の取り組みや話し合いなど仲間づくりがしっかりと行われていたか、どこに原因があるのかしっかりと検証しなければなりません。さらに学習と交流を重ね国労運動の原点である「職場で見える運動」を進めていきたいと考えています。組合員、家族の皆様、そしてすべての社員が「健康で働きやすい職場」であり、自動車の一部として頑張り続けていきたいと思います。本年もよろしくお願致します。